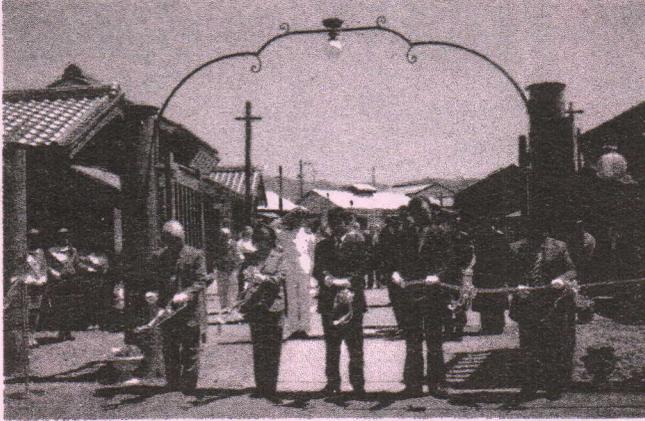


第24号
平成22年5月11日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎685-7170



新口ケ村 阿波大正浪漫バルトの庭

大森町楨に移設された、映画「バルトの楽園」の新口ケ村「阿波大正浪漫バルトの庭」が4月25日オープンしました。オープンセレモニー後、大勢の観光客が訪れていました。

魚、さかな、サカナ

NPO法人 快てきペンギン村
理事長 元木 照夫

NPO 法人快てきペンギン村は、平成21年9月に法人化してからまだ半年しか過ぎていませんが、母体となる快てきペンギン村は今年で15年になります。

活動内容は今のところ、第一土曜日、内の海新鮮市への出店。第四土曜日、北泊新港での鮮魚販売がメインです。どちらも好評で、お客様からは「新鮮だ。美味しい。安い。」といった声を聞かせていただいております。たいへんありがたいことです。

昨年10月、11月、12月に一度ずつ行った「旬の魚のさばき方教室」では、たくさんの方が参加してくださり、12月は定員20名のところに倍の40名の参加者がありました。一人でも多くの方が、魚をさばけるようになってくれるのはうれしいことです。

また、鳴門市が介護予防事業の一環として月に2回開講している、「65歳以上の男のクッキング」に3月24日、講師として招かれ、鯛、キス、鰯、イカ、若布の芽カブの料理講習を行いました。参加者が上手に鯛や鰯、キスをさばかれるのを見て感心しました。これからはいろいろな形で、魚介類の食の普及を行っていきたいと思います。

快てきペンギン村の魚を目当てに、大勢の観光客が鳴門に来てくれるように頑張っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。



内の海新鮮市



安全で安心な街づくりを合い言葉に！

黒崎地区自治振興会会長 村上 菊雄

黒崎地区自治振興会（14自治会）は

「防災・防犯の決め手は自助・共助！

安全で安心な街づくりが私たちの合い言葉」を標語に掲げて、地区社協と“車の両輪”のような関係で活動しています。この、私たちが「安全で安心な街づくり」を目指す理由は、住民が安心して暮らせなければ家庭の団欒もなく、住民間のコミュニケーションも図れないという考え方に立脚しています。

そのような考え方をベースに、当地区が実践している主な活動は

- 「安全パトロール」活動で児童の登下校時の安全を確保する **安全パトロール隊と子どもたち**
- 「自主防災会」主催の防災訓練や防災研修の実施
- 「くろさき花街道クラブ」の、交通安全に寄与する路側帯美化活動

といったものですが、この活動の中でも平成18年4月、市内で一番に結成した安全パトロール隊（隊員70名）の活動では、おじいちゃん・おばあちゃん隊員たちによる毎日の登下校時の“健康ウォーキング”を兼ねたパトロールに対して、児童たちの感想文の中で、感謝する心の芽生えが感じ取れるなど、私たちが投じた一石が二鳥・三鳥の成果を挙げていると確信しています。なお、このパトロール活動が高く評価され、昨年12月、徳島県知事表彰を受賞したことで、隊員の士気が一層高まっているところです。

このほか、花街道クラブのメンバーによる、黒崎バイパス路側帯に季節の花を植え付ける活動は、単なる環境美化にとどまらず、自動車運転中のドライバーの心を和ませることで交通安全に寄与すると同時に、住民の結束力の強さを誇示する、つまり見方を変えれば間接的ではあるが防犯にも役立っていると思います。

最後に、第二の人生で余暇のある方々に、その余力を、安全で安心な住みよい郷土・鳴門市とするために捧げることを呼び掛ける次第です。

地域福祉に役立ててください



鳴門市社会福祉協議会の善意銀行は「小さな親切運動」鳴門支部から預託を受けた車イス5台を、NPO法人 ふれあい福祉の会山びこへるふ、NPO法人 地域交流の会コスモスはうす、鳴門市立図書館へ払い出しました。

2月23日、鳴門市社会福祉協議会で贈呈式があり、協議会会長が各代表者に車イスを手渡しました。

第8回鳴門市市民活動交流研修会が開催されました

第8回鳴門市市民活動交流研修会が2月21日、キョーエイ鳴門駅前店で開かれました。

島博司氏の基調講演と3団体の活動報告の後、隣の会場で、ボランティア活動の希望者が自分に合った団体を見つける 第2回「ボランティア・

NPO・マッチングフェア」が開催され、ボランティア団体やNPO法人が開設したブースにたくさんの来場者が訪れていました。

活動を紹介したパネルの展示は27日までありました。

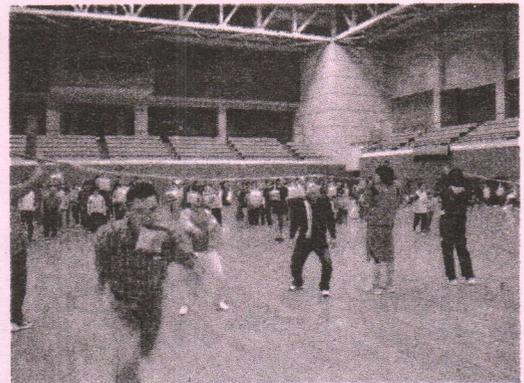


NPO法人 ぼてとくらぶ

「地域活動支援センター」

NPO法人 ぼてとくらぶ理事長 都築 一雄

平成5年6月、「小規模作業所ぼてとくらぶ」を設立、わかめ家族会が開所し運営する。平成18年10月1日、「特定非営利活動法人ぼてとくらぶ」設立。回復途上にある在宅の精神障がい者を対象に、心身の健康に配慮しながら、活動の場を提供し、ハンガーの組立加工等を通して職業能力を高め就労準備をするとともに、妙見山公園の花壇管理等の社会参加活動により社会性を身につけ、精神障がい者の社会復帰に寄与することを目的としています。



運動会会場

【事業内容】

- ① ハンガーの組立加工等の作業を通して職業能力を高め就労準備をする。
- ② 電気部品の組立加工技術の習得により社会適用能力を養成し社会復帰を促進する。
- ③ 公園花壇管理等の社会参加活動により社会性を身につける。
- ④ 俳句・俳画・吟行等の創作活動により表現力を養成する。
- ⑤ 調理実習・レク等ボランティアとの交流活動により協調性や親和性を養成する。

「グループ活動」囲碁・将棋・パソコン・調理など趣味的なものも楽しく習得できます。

「学習会」日常生活や人間関係、仕事、病気、薬など利用者が困っていることや興味のあることを取り上げます。「各種ミーティング」当センターの運営に必要なことを決めたり、行事やレクリエーション、旅行の計画を立てるためのミーティングをしています。その他にも、地域の方々に精神障がい者への理解を深めてもらう努力をしています。

4月よりクロネコヤマト宅急便の配達希望者が2名あり宅配メイトをはじめました。環境を整えることにより当事者も夢と希望が生まれ目標達成に向けて頑張る意欲が出てきます。限りない可能性を求めて支えていきたいと念願しています。まずは、環境の整備が絶対に必要であり不可欠であると思っています。福祉関係者のご協力ご支援をお願い申し上げます。

手話サークル「わかめ」の活動

手話サークル「わかめ」
岡 徹郎

手話サークル「わかめ」は昭和49年6月、手話講座の受講生が、手話は聴覚障害者との交流の中で学びたいとの思いから立ち上げました。最初は12人位の少人数でしたが、聴覚障害者と健聴者がお互いを尊重しあいながら今日まで続いてきました。

県で開かれる「手話まつり」には、おでん、うどんの販売など、全員が楽しみながら参加しています。また、徳島県聴覚障害者福祉協会と連携し、全国の情報をお互いに共有しています。



交流会風景

手話落語や手話コーラスもしながら笑いの絶えないサークルです。どなたでも是非ご参加してください。お待ちしております。

場 所 鳴門市身体障害者会館

日 時 金曜日 13:30~15:30

助成金情報



平成22年度社会福祉助成事業の公募

◇助成事業

【事業助成】

ボランティアグループ等が在宅高齢者または在宅障害者等のために福祉活動や文化活動を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備する費用について助成する。

◇助成金額

1件20～50万円

◇助成対象

地域福祉活動を目的とするボランティアグループおよびNPO（法人格の有無は不問）

【研究助成】

（平成23年12月末までに完了するもの）
老人保健、老人医療、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究・調査への助成

◇助成金額

1件30万～70万円

◇助成対象

非営利の民間団体等および個人

◇申込締切り日

平成22年6月末日（必着）

◇問合せ先

公益財団法人 太陽生命厚生財団
☎03-3272-6268



平成22年度社会福祉助成金

◇助成対象

【事業助成】

法人施設、団体であること。ただし、法人格をもたないものであっても、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象とする。個人は除く。

【研究助成】

法人施設、団体または研究グループ

◇助成対象案件

- ・社会福祉の向上を目的とした企画であること
- ・当該案件が公の援助を受けていないこと
- ・明確な企画（目的、内容、資金使途等）であること
- ・先駆的、開拓的事業を優先する

◇助成期間

単年度事業とする

◇助成金額

1件当たり80万円を限度

◇申込締切り日

平成22年7月末日（消印有効）

◇問合せ先

財団法人松翁会 事務局 助成係
☎03-3201-3225

ボランティア募集

「みんなの手喜来輪」は「未来の子どもを守るかい」を母体にし、心豊かに育ちあい、人とふれあいを蜜にし、生活文化の向上を図り、子どもたち・高齢者・障害者・健常者一人ひとりが、生かされる、共助・共生・共働の地域を創造しています。

活動の一つとして、一人暮らしや高齢者世帯などで、食事作りが困難なお年寄り及び、病後、産後の方にも、温かい、家庭的なお弁当を毎週金曜日・第4土曜日に昼食をお届けしています。

最近「配達地域を広げて欲しい」「配達日を増やして欲しい」との要望があり、現在のボランティア人数では応えかねます。そこで、多くの方にお力を貸して欲しく、下記を募っています。

調理（9：30～11：30）教え、教わることが多いです。

配達（11：30～12：30）安否確認も兼ねています。

回収（13：30～14：30）同上

問い合わせ先（平日の問い合わせは18時以降でお願いします）

090-1578-6395（川村）